

西脇市民会館の利用団体等の意見を伺う会

資料 4

27.12.3(木)19:00～／市民会館中ホール

〈出席者／22名〉

〈行政側〉笹倉教育長（公財 文化・スポーツ振興財団理事長）

森脇教育部長、山本生涯学習課長、杉原財団事務局長

大前都市経営部長、早崎総合企画課長

司会進行：生涯学習課長 山本昇司

- 1 開会 山本課長
  - ・透明性を持たせる会とするため、今回開催に際し記者発表を行っている。
  - ・今回の会については、すべて公開とし傍聴可としている。
  - ・意見録音及び傍聴者として新聞記者、市議会議員も来られているので、あらかじめご了承ください。
  
- 2 あいさつ 笹倉教育長  
(公財)文化・スポーツ振興財団理事長
  - ・現在、西脇市において公共施設の適正化に向けての検討が重ねられている。市民会館については、昭和41年1月に竣工し50年が経過しようとし、建物の老朽化が進んでいる。
  - ・市庁舎の建て替え方針が示された今日、隣接する市民会館についても建替えまたは耐震補強等大規模改修等の検討が急務になっている。
  - ・また、今秋の市議会において市長は「市民会館は必要である。内外装や設備の老朽化が進んでおり。建替が望ましいと考えるが、今後、市民会館事業に関わっていただいている団体の方々や市民の意見また検討委員会の意見も尊重しながら検討していくことになる。」と述べている。
  - ・平成26年度市民アンケートにおいて西脇市に必要な公共施設は①市役所 ②病院③市民会館であった。これらを踏まえ、市民会館は西脇市に必要な建物であると考えている。
  - ・今後、結論を出すのは市であるが、市民の声をお聞かせいただきたい。特に本日は市民会館と関わりの深い、文化・スポーツ振興財団の理事・評議員のほか市民会館利用の文化関係者、音楽関係諸団体の方々に参加いただき、市民会館への思いも含め忌憚のないご意見を伺い、慎重に検討して参りたいと考えた次第である。
  
- 3 市民会館の現状と在り方について 森脇教育部長 別添資料により説明
  
- 4 意見交換

発言順	発言者	発言要旨
1	文化連盟関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、市民会館の建替え、改修という議論になっているようだが、私自身市民会館が建つ以前から演劇活動をしており長年文化芸術活動に関わってきた。その関係もあって当時、市民会館の建設委員も務めさせていただいた。</li> <li>・50年前のことであるので、他に類する建物がなかったせいもあって、確かフランスの劇場から資料を取り寄せたり建設したが、現在の会館は欠陥としか言いようがない。</li> <li>・本来、客席のスペースと舞台をも含め、楽屋、舞台裏、袖などのスペースは同じ大きさのスペースでないといけないが、まったくそうはなっていない。予算の都合でそうなったのだと思うが、今となっては他の会館へ行き比較すると舞台、舞台周りが見劣りする。</li> <li>・当時は文化に飢えていた時代でもあり、西脇に一流の舞台、演劇をするのに劇団四季や文学座などを呼ぶのにととも苦労した。オーケストラを呼ぶにも載らないので舞台を拡張したりするなどとも苦労した。</li> <li>・先日行われた「東はりまみんよう大会」に28団体が参加したが楽屋もないことから着替え一つもする場所がないのが現実。楽屋らしいものがないホールはどうしようもない。</li> <li>・舞台、舞台周りを広げ、また客席も考える上で機能するホールにするためにはもう建替えしかない。新しく建替え後世に伝え残していくことが重要と考えている。</li> </ul>

2	文化連盟関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西脇市民合唱団を66年間、それ以来文化連盟にずっと関わっており、市民会館とは50年お付き合いをしている。1年に一度の市民合唱団定期演奏会、市民音楽祭への出演など100回を超える利用をさせていただいている。</li> <li>・他の方が言われていたとおり、ホールは欠陥としか言いようがない。日本中さがしても多分楽屋が一つしかないというのは珍しい。団体の多い音楽会をしても着替える場所もないのは致命的であり、東播、県全域、その他の地域から集めてする行事となるとたちまち困ったことが多々あり、西脇に大きな音楽関係の発表会の行事を呼ぶことは困難。こうした状況が変わらないのであれば耐震改修工事をして無理がある。</li> <li>・それと、音楽、合唱にしろ楽器にしろ演奏会をするのに反響板がないというのも致命的であり、舞台の構造に問題があるとしか言いようがない。反響板は舞台裏に収納するというのが一般的であるが、そうしたスペースもない。</li> <li>・そうしたことに対応できる建物にして欲しい。立派なものでもなくてもいいので、舞台、楽屋等が十分で他の施設にひけを取らない使いやすいホール。これが一番と考えている。</li> <li>・昨今、建物が文化的・歴史的価値があるという声があるが、開館以来長年使ってきて初めて聞いた。しかし、使う側、これからも使っていきたいと思っている側の意見を大事にし思いきって建替えるべきである。</li> </ul>
3	財団関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回、教育長が集められた会であり、市民会館の在り方検討会となっているが、別に公共施設適正化検討委員会の委員となっている。検討委員会は総合企画課、財政課がとりまとめをしており、市民会館は教育委員会というのはあまりにもバラバラなやり方をしているような気がしてならない。私自身文化連盟会長という立場と検討委員会委員という二つの顔があるので、どういう立場で意見を言えばいいのかと思う。</li> <li>・文化連盟としては、以前Miraieの見学会をした後に文化連盟の理事の方々に集ってもらい、多くの意見を聞かせていただいた。市民会館はもう古く使い勝手が悪いという意見も出てはいたが、今後文化行政をどう振興させていくかという市の姿勢があつての市民会館であるという意見も出ていた。また、一部で市庁舎と市民会館を複合化でという考え方が示されているようだが、文化連盟としては複合施設になり使い勝手が悪くなるようなことがあってもいけないので、単独の施設が望ましいと思っている。</li> <li>・先ほど話も出ていたが、先日の「東はりまみんよう大会」でも楽屋が一つしかないので、10団体ほどが使用するため、わざわざ中ホールをパネルで仕切って床にカーペットを敷いて使った。楽屋、控室の少なさからとても苦労させられるのも事実である。</li> <li>・それと、検討委員会で専門家の意見を聞くということを言っていたが、結論はどうなっているのか。また、個人的にホールの席数を調べたが、今660席あるものを400から500席にするということは、大きな大会などをする場合、西脇市では利用できないということで、近隣の1,000席を持つホールに行ってしまうことがある。現在三木市が1,288席、小野市が1,092席、加西市が1,000席となっている。加西市は改修すると聞いた。市長は効率化と言っているが単独で建てて欲しい。そうしたことも今後考えなければならぬと思うが。</li> <li>・また、ヨーロッパでは改修して100年、200年持たすということも聞く。改修後10年しか持たないということを行っているが、いちがいにそうとも思わない。確かに雨漏りであるとか、ホールの座席の破れとかひどく傷んでいる設備部分も多いが、新聞記事にもなっており今後建替えか改修かは十分論議しなければならぬと思うところである。</li> </ul>

4	財団関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民会館の過去の経歴は今一つわからないので、財団副理事長としてではなく一市民としての思いとして意見を言いたい。市民として50年間使ってきた方がこの会館をどう思っているかという、ホールで鑑賞した人の意見として座席の前後が非常に狭い、もう古い、使い勝手が悪すぎるといった意見が多く施設として不十分さが目立っている。</li> <li>・行政の在り方として、どこで辛抱しているのか。やはり予算的なことで問題もあり辛抱して使ってきたかと思う。今後、どう使っていくかということになるが、単に耐震改修というだけでは何ら利用者の感覚としては変わらないと思う。</li> <li>・耐震改修工事であと何十年という考え方をするよりも、子孫に課題を残すことのないよう思い切って建替えるべきである。</li> </ul>
5	財団関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人的な意見として言わせていただく。端的に50年の歴史の中で、現状においては文化芸術の拠点とならなければならない大ホールが機能していないように思う。</li> <li>・舞台と客席が同じ面積でという意見もあるが、現代の舞台の多くはバックヤードも含めると客席よりも広いというのが通常ではないかと思う。今となれば市民が望む状況ではない。</li> <li>・市民会館は文化施設と言いながらホールは文化ホールなのか、市民の集会のためのホールなのか、何のためのホールなのか住み分けをしなくてはならない。</li> <li>・市民会館がなくなるとなれば市民の多くは「わが西脇に市民のためのホールもないのか」ということになる。試算では建替え17億の予算となっているが多分膨らんでくるとされる。よく議論し建替えを考えて欲しい。</li> <li>・建替えとなると場所の選定は当然だが、集客を考える上で駐車場の確保が大事である。いずれにしろ他の地域に負けない施設を考えて欲しい。</li> </ul>
6	財団関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の資料も見る限りでは、すでに建替えの方向が前提となっているような感じを受けるが、皆さんの意見をじっくり聞いてみたい。50年の間に市民会館の持つ意味合いも変わってきた。演劇、美術展など複合会館となっているのも現実であり、これも時代、歴史の変化だと思う。</li> <li>・今までに出ている市民会館の会議室、楽屋、駐車場などは解決できる問題であると思う。庁舎については、耐震に耐えない、市職員の分散など集約して一か所で運営することが望ましい。建替えなければならないことは認める。</li> <li>・カルチャーセンター建設時、市に在籍した関係で東京へも何度も足を運び設計に関わったことがある。しかしながら当初の運営形態と変わっている。市民会館も同様である。Miraieも建てたから図書館を移動させた。時代がそうになっている。</li> <li>・昔、大ホールで劇団四季の「エクウス」を公演した時舞台を広げた。知恵で対応できる部分も結構あると思う。</li> <li>・全体をひっくり返して市民会館の役割は何だったのか。今まで何をやってきたのか。物理的な記録、市の仕事、人の動きなど歴史にとどめることも必要だと思う。私自身、市民会館は誇りに思っている。</li> <li>・朝日新聞に建築学会からの要望書が記事になっていた。建築遺産の継承ということも大事かと思うが。</li> </ul>
7	財団関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民会館は県下でも3番目か4番目に建設された施設であると聞いている。文化の香り高いまちとして市民会館の果たしてきた役割は大きい。しかし、50年という歳月が経ち何かしなければならぬ状況は当然出てくる。使い勝手の悪さは目に見える。</li> <li>・お金があればどんなことでもできるが、限られた予算の中では制約があるのは当然だが、知恵を出し合うべきである。</li> <li>・これからの西脇市は何をメインにするのか明確にすべきだと思う。あれもこれもでは無理。一番はこれだという、市民の英知と行政の知恵を絞って議論が必要。私自身、建替えとなれば文化ホールのものがメインとなるのがよいと考える。建替えよしとするが、どこにどのようなものをということをしっかり議論すべき。</li> </ul>

8	財団関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生まれて初めて市民会館の大ホールに足を踏み入れた感動を今でも覚えている。昭和47・48年に年に1回の小中学校連合音楽会に参加した。真新しい大ホールでの初ステージの印象がいまだに記憶に残っている。このことが土台となり、音楽教師になった。</li> <li>・これから生まれてくる子どもたちにはホールの空間の素晴らしさを味わわせてあげることが大切。環境の整ったホールでの音楽、展示場での絵などの芸術作品など、本物の芸術文化を子どもたちに見せるべき。</li> <li>・今の子どもたちはもちろん、これから生まれてくる子どもたちのため、市民会館は芸術の世界の入口として、また心はぐくむ場所として考える時、今のままでは無理がある。建替えを強く望む。</li> </ul>
9	財団関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回、建替えという話を耳にしているが、施設の瑕疵もあるが、市民会館は使った人がいいなと思えるホールにして欲しい。</li> <li>・建て替わったとしても、これから利用したいと思える施設にすること。また、ホールを使ってする行事等については企画から開催まで携わるホールマネージャー的な人材育成することが大事だと思う。使うホールも大事だが人を育てるホールになってくれることを願っている。</li> </ul>
10	学校関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西小オーケストラを指導していたこともあり、何度もホールを使用してきた。とにかく音響の環境に関しては不良である。これから子どもたちが夢を持つことができる、わくわくする自慢できるホールのある市民会館に生まれ変わって欲しい。</li> </ul>
11	文化連盟関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベル演奏を初めて20年になる。近隣のホールがどんどん新しくなり、最新の設備で素晴らしい環境が整っている。演奏するものとしては、すてきなホール環境、ホールスタッフの中で演奏したいというニーズが当然ある。</li> <li>・今の市民会館のホールは音響がまったくダメで演奏の音を半減させてしまっている。アピカホールは音響はいいが200人のキャパでは物足りない部分もある。できれば500から600人規模の新しいホールを期待している。</li> <li>・市民会館も半世紀、十分に役割を果たしてきたと思う。これから西脇市の活性化、市の文化の発祥の場所として、これからの文化芸術の振興を図るために、また、子どもたちに自慢できるような市民会館を残してあげて欲しいと強く思っています。ぜひ建替えしていただきたい。</li> </ul>
12	財団関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西脇小学校の建替え問題についても郷愁の思いというだけでは、後世の人に不便をかけることにならないか。という思いがある。</li> <li>・市民会館は学校と違い独自のものを持つべきであり、きっちり議論する中で方向性を出すべきだと思うが、現状からして市民の多くが利用しやすい、また、利用価値の高いホールにして欲しいと思っている。建替えが望ましいのではないか。</li> </ul>
13	財団関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・50年の重みを感じる。黒田庄に住んでいて中学校時代西脇市はハイカラな町だと感じていた。高校ではホールで映画会、演劇などを鑑賞した記憶がしっかりと残っている。高校の美術部でホワイエで部展をした時、何か誇りに思った。</li> <li>・中町中で教員をしている時にベルディーホールが建った。以前学校でしていた文化祭をベルディーで開催した時、子どもたちの目も輝き、喜び敏感になっていたことを思い出す。</li> <li>・今、市民会館の果たす使命は終わったような気がする。ホール、展示場を使った本物の芸術をいい環境の中で見、触れることが大切。拠り所となる、市民が誇れる市民会館を建てて欲しい。</li> </ul>
14	財団関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校の美術部にいた。当時市民会館を見て、ツタのきれいな建物という印象があった。現在、利用状況や利用者の感想が思わしくないと聞いているが、なぜそうなっているのかをしっかりと見極めるべき。</li> <li>・バリアフリーなど障害者に優しい施設と感ずることがよくある。今、すべてのことをクリアしようとするれば建替えしかないと思う。西脇市の「人輝き 未来広がる 田園協奏都市」という都市像をもって新しい未来へ進むべだと思う。</li> </ul>

15	財団関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの時大ホール入った時感激した覚えがある。利用する立場から卒業生を送る会をした時随分古くなったなと感じた。私も兵庫の邦楽の会でホールで演奏させていただいて感じていたが、年3回から4回ほど使っている人が言うには、色んな舞台を使ってきているが音が漏れる。音が取れないなどこれほどひどい舞台はない。</li> <li>・西宮市の県立芸術文化ホール、神戸国際会館ホール、神戸文化ホールなどは共通して舞台周りが広く使いやすい。利用者からすれば一番に考えることは使いやすさということになる。その点で市民会館は無理である。新しい技術を駆使した新しい市民会館として建替えを望む。</li> </ul>
16	財団関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校関係者ということもあり、学校行事で使うことも多く、子どもたちが舞台から出てくる様子を見ていると、舞台裏が狭く使い勝手が悪すぎると思う。今、西脇の小中学校の子どもたちが音楽、美術の方面で活躍している。今後子どもたちが伸びる環境、実力をつけ成果を発揮できる文化ホールの建設を願っている。</li> <li>・西脇市は中途半端な施設しかないように思う。子どもたちが夢を持つ市民会館であることが大切だと思う。</li> </ul>
17	財団関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまり使うことがないが、一市民として言うならばホールの前後の座席間がとても狭い、トイレの段差がありすぎ、設備が整っていないなど改善するところだらけのように思う。また、駐車場にしても大きな催しがあった場合、すぐに満杯になり駐車する場所さえない状況がある。</li> <li>・市民会館の建替えに賛成である。他の施設やホールを参考にすることはもちろんだと思うが、市民アンケートをして、多くの人の意見を聞き、素晴らしいみんなが喜ぶような市民会館にして欲しい。</li> </ul>
18	財団関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補導委員の関係で他市町の会館を利用することが多い。行くたびに市民会館と比べるとすべてが障害者にやさしいバリアフリー化となっている。新しい施設はすべてフラットな造りとなり使いやすさ。</li> <li>・市民会館で鑑賞もした。文化祭も開催したことがある。その時なんかワクワクした。たぶん今の子どもたちが市民会館に入ってもワクワクしないと思う。これからは若い人が西脇の市民会館へ寄ってくるような施設にしないといけない。誰もが使ってみたい、訪ねてみたいと思う文化ホールに建替えて欲しい。また、いろんな活動が提案できる施設が大切だと思う。</li> </ul>
19	財団関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民会館大ホール使って舞台の企画を行う市民企画委員会「0」に入って活動をしている。公演内容を企画する時、いつも困っているのが舞台上が狭いため、何度も呼ぶことができずだめになってしまい試行錯誤の状態である。今までの意見にもあったように座席が狭い、楽屋が一つしかない、トイレに階段があり高齢者が使いにくい、設備が古すぎるなど改善することがありすぎの状態である。</li> <li>・子どもたちはいい本物を見るとワクワクする。舞台も含めいい環境となれば、「0」としても市民にいい企画を提供したいが現状のままではどうにもならない。改修よりも建替えを望む。</li> </ul>
20	学校関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・舞台に反響板がないというのは、すでに意見が出ているように音楽の舞台を行う上では致命的だと感じている。箱モノがあってそこに素晴らしい環境が詰まっている状況は当然のことであり、利用する側もそうあるべきと考えている。</li> <li>・一度2階に楽屋があると聞き、ゲストを連れて行ったが、薄暗く窓もないところの部屋を見てびっくりした。やはり誰もが程度の辛抱はするとしても、使い勝手のいい施設にして欲しい。</li> <li>・吉川町に生まれ育った。中学生の時、北播連合音楽会で初めて利用し、今は音楽教員になり市民会館のホールをよく利用しているが、今はもっと設備環境が良くなればいいのにと強く思う。西脇市の文化・芸術の発展の拠点となるべき場所である。改修よりも建替えすることが望ましい状況だと思う。</li> </ul>

21	学校関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろんな意見や考え方が聞けてよかった。一つ言いたいことは障害者にとって非常に使いにくい施設だと言うこと。以前、車椅子の生徒を連れてきた時、ホール入口横のスロープが途中で切れており、鉄板を置いてスロープとしていたが非常に危険とと感じた。</li> <li>・ホールを始めとする扉の幅も狭く、トイレにも階段があるなど、障害者が利用するのにとても不便を感じる。団体の大小、目的も気にすることなく使える施設になればと思うのとどこにも劣ることのない音響環境のよいホールを考えるべきだと思う。私自身は建替えに賛成です。</li> </ul>
22	学校関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の音楽教員をしている傍ら西脇市吹奏楽団に在籍しているため、よく大ホールは使っている。施設に入って一番思うことがカビ臭い。天井にあるクーラーの吹き出し口から雪のようなホコリも降ってきたこともある。健康被害があるのではと心配する。過去に市吹奏楽団の練習時に舞台裏の天井からコンクリート破片が落ちてきたり、雨漏りも何度かあった。何かにつけて古臭くなってしまっている。</li> <li>・音響もまったくダメなホールで、今の時代にマッチしていない。安全面も含めて長くは持たないだろう。このホールで練習しててもうまくならないだろうとも感じている。</li> <li>・これからの時代、高いレベルの音楽家、芸術家を使いやすいという程度のホールはある。良くなればアーティストは使いたいと思うし、近隣の多くの団体等も利用したいと思うだろうから、何かが変わると思う。また使用頻度も上がるのは間違いないと思う。</li> <li>・いいホール、いい音は印象に残る。心の豊かさにもつながる。強く建替えを要望したい。</li> </ul>